

## 1. 鎌倉草創塾について

---

## 1. 鎌倉草創塾について

### 1.1. 鎌倉草創塾とは

鎌倉市では、これまで実施することが難しかった「今後必要な施策を検討するための基礎データの収集・分析」「データや知見に基づいた中長期の将来展望に係る提言」について、本格的に実施することが必要であるとの認識から、政策提言までを目標としたプロジェクトチーム（以下「PT」という。）を設置し、これに取り組んでいます。

加えて、今後の厳しい自治体運営に耐えうる市役所となるべく、「職員の政策形成能力の向上」が必要であると考え、平成 25 年度より「鎌倉草創塾」を開講し、調査研究に取り組んでいます。

平成 25 年度は第 1 期として、3つのテーマについて鎌倉草創塾で調査研究を実施したことから、この報告について、本書にまとめたものです。

### 1.2. 年間スケジュール（概要）

日付	内容
	調査研究テーマの決定（決裁）
平成 25 年 6 月 17 日	全体説明会・キックオフ ～各プロジェクトチームによる調査研究方針についての検討～
8 月 12 日	理事者との意見交換会 ～各プロジェクトチームによる調査研究～
11 月 11 日	理事者への中間報告会 ～各プロジェクトチームによる調査研究の取りまとめ～
平成 26 年 5 月 2 日	理事者への最終報告会

### 1.3. プロジェクトチーム

プロジェクトチーム名	概要
将来ビジョン研究 PT	将来人口推計と連動させた歳入の見込と、少子高齢化の進展に伴う歳出の見込みをベースに、今後、20年間にわたる財政シミュレーションを行い、少子高齢社会における財政規模を明らかにするとともに、新たな課題へ対応するための施策を検討する。
観光・経済研究 PT	鎌倉市に訪れる観光客の人数、属性、動向、消費行動等を調査し、基礎データを作成する。その後、観光客の市内における消費等が本市の観光関連産業にもたらす経済効果について、産業連関分析の手法をもとに測定し、客観的に示す。 あわせて、観光振興により地域にもたらされる社会効果について、メリット・デメリットに分類し、定性的に整理する。
クリエイティブ産業研究 PT	IT産業の集積による経済効果を予想し、その視点から新たな産業誘致に係る支援策を考察し、提言する。IT産業の将来動向や他市における動向を調査し、IT産業全般の現状把握を行う。また、IT産業の集積を促進し、支援する手法としてクリエイティブ産業注2の育成とその可能性について考察を行う。

### 1.4. アドバイザー

各プロジェクトチームの調査研究にあたり、プロジェクトチームアドバイザーを設置しました。

アドバイザーについては、以下のとおり。

- ・敬愛大学準教授経済学部准教授 金子 林太郎氏（将来ビジョン研究 PT）
- ・(株) オイコノミクス計量計画事務所 横山 真吾氏（観光経済研究 PT）
- ・首都大学東京大学院都市環境科学研究科博士後期課程 土屋 依子氏  
（クリエイティブ産業研究 PT）